

<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="margin: 0;">収 入 紙</p> </div>	<p style="margin: 0;">年 月 日</p>
<p style="margin: 0;">[処分用]</p>	
<p style="margin: 0;">産業廃棄物処理委託契約書</p>	

排出事業者（甲）		
住 所		
氏 名		Ⓔ
（法人にあっては名称及び代表者の氏名）		
処分業者（乙）		
住 所	札幌市中央区北 1 条東 1 5 丁目 1 4 0 番地	
氏 名	株式会社 公清企業	
	代表取締役 原 田 利 明	Ⓔ
（法人にあっては名称及び代表者の氏名）		
処分業許可番号	05140004748	許可都道府県政令市名） 札幌市
乙の事業範囲	別表 1、処分施設の内容に記載	

甲と乙は、甲の事業場から排出される産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物（以下「廃棄物」という。）の処分に関して、次のとおり契約を締結する。甲と乙は、本書を 1 通作成し、それぞれ記名押印の上、甲は本書を保有し、乙は写しを保有する。

- （目的）
第 1 条 甲は、別表 1 に基づき、廃棄物の処分を乙に委託する。
2 乙は、本書の定め及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律（関連する政令及び省令を含む。以下「法令等」という。）に従い、廃棄物を別表 1 に示す方法により許可された施設にて適正に処分する。

- （乙の事業範囲及び許可証の添付）
第 2 条 乙の事業範囲は上記及び別表 1 のとおりであり、乙の事業範囲を証するものとして、許可証の写しを添付する。なお、許可を更新した場合、又は許可事項に変更があったときは、乙は、速やかにその旨を甲に通知するとともに、更新後又は変更後の許可証の写しを本書に添付する。

- （廃棄物の排出事業場、種類、数量、金額及びその他適正処理に必要な情報の提供）
第 3 条 甲が、乙に処分を委託する廃棄物の排出事業場、種類、予定数量及び合計予定金額は、別表 1 のとおりとする。
2 甲の委託する廃棄物の適正処理に必要な情報とは ①性状及び荷姿 ②通常の保管状況の下での腐敗、揮発等性状の変化に関する事項 ③他の廃棄物の混合等により生ずる支障に関する事項 ④日本工業規格 C0950 号に規定する含有マークの表示に関する事項 ⑤石綿含有産業廃棄物が含まれる場合には、その事項 ⑥特定産業廃棄物が含まれる場合には、その事項 ⑦その他、取り扱いに関する注意事項 であり、甲は乙に別表 1 にて提供するものとする。
3 甲は、本条第 2 項で提供した情報に変更が生じた場合は、当該廃棄物の引渡しの前に、別表 3 に記載の方法により乙に変更後の情報を提供しなければならない。

- （処分料金及び支払い）
第 4 条 甲の委託する廃棄物の処分業務に関する契約金額（以下「契約単価」という。）は、別表 1 のとおりとする。
2 乙は、委託業務の終了した部分について、処分料金を契約単価に基づき、甲に請求することができる。
3 甲は、産業廃棄物管理票（以下「manifesto」という。）の写しの受領等により、乙が廃棄物を確実に処分したことを確認したときに、乙に料金を支払う。

- （収集運搬業者）
第 5 条 別表 1 に記載する乙の事業場へ搬入する収集運搬業者を次のとおりとする。（収集運搬業者又は積込み場所若しくは荷下ろし場所が多数となる場合は別途書面を作成し添付する。）

収集運搬業者		住所	
	(積込み場所)		(荷下ろし場所)
収集運搬業許可番号			
	(許可都道府県政令市名) ()		()

- （保管）
第 6 条 乙は、甲から委託された廃棄物の保管を行う場合は、法令等に定める保管基準を遵守し、かつ、第 9 条 1 項に定める契約期間内に確実に処分できる範囲で行う。

- （manifesto）
第 7 条 甲は、廃棄物の搬出の都度、manifesto（電子manifestoを含む）に必要事項を記載し、A（排出事業者保管）票を除いて収集運搬業者に交付する。
2 乙は、廃棄物の搬入の都度、収集運搬業者からmanifestoの回付を受ける。
3 乙は、廃棄物の処分終了後、manifestoに必要事項を記載し、D（処分終了）票を処分終了日から 10 日以内に甲に送付するとともに、C 2（処分終了）票を収集運搬業者に送付し、C 1（処分業者保管）票を 5 年間保存する。（電子manifestoは情報処理センターが保存する。）
4 乙は、本契約に係る廃棄物の最終処分が終了した旨が記載されたmanifestoの写しの送付を受けたときは、甲から交付されたmanifestoのE（最終処分終了）票に最終処分の場所の所在地及び最終処分を終了した年月日を記入するとともに、そのmanifestoに係るすべての中間処理産業廃棄物について最終処分が適正に終了したことを確認した後、10 日以内にE（最終処分終了）票を甲に送付する。
5 甲は、乙から送付された、D（処分終了）票及びE（最終処分終了）票を、A（排出事業者保管）票、B 2（運搬終了）票とともに 5 年間保存する。（電子manifestoは情報処理センターが保存する。）

（最終処分に係る情報）

第 8 条 当該廃棄物に係る最終処分（再生を含む）の場所の所在地（住所、地名、施設の名称など）、その方法及び施設の処理能力は、別表 2 のとおりとする。なお、別表 2 は別紙で添付する。

2 甲は、乙と最終処分（再生）業者等との間で交わしている処理委託契約書、manifesto（又は受領書等）及び許可証の写し等により、本条第 1 項に係る事項の確認を行うこととする。

3 別表 2 に記載する最終処分（再生を含む）の場所等に変更が生じた際は、乙は遅滞なく甲に通知し、必要な情報を本書に添付しなければならない。

（契約期間及び保存）

第 9 条 この契約の有効期間は、別表 1 の委託内容のとおりとし、期間満了の 1 ヶ月前までに、当事者の一方から相手方に対する書面による解約の申し入れがない場合にかぎり、同一条件で更新されたものとし、その後も同様とする。

2 甲及び乙は、契約書及び契約書に添付される書面を契約の終了後 5 年間保存する。

（法令等の遵守）

第 1 0 条 乙は、法令等、関係法令及び行政指導等を遵守して、廃棄物の処分を行わなければならない。甲もまた、排出事業者として法令等を遵守しなければならない。

（甲の義務と責任）

第 1 1 条 甲は、乙から要求があった場合は、第 3 条によるもののみならず、処分を委託する廃棄物の種類、数量、性状（形状、成分、有害物質の有無及び臭気）、荷姿、取り扱う際に注意すべき事項等の必要な情報を速やかに乙に通知しなければならない。

2 甲は、委託する廃棄物の処分に支障を生じさせるおそれのある物質が混入しないようにしなければならない。万一混入したことにより乙の業務に重大な支障を生じ、又は生ずるおそれのあるときは、乙は、委託物の引き取りを拒むことができる。乙の業務に支障を生じた場合、甲は、処分料金の支払い義務を免れず、他に損害が生じたときは、その賠償の責にも任ずるものとする。

（乙の義務と責任）

第 1 2 条 乙は、甲から委託された廃棄物を、乙の事業場における受入から処分の完了まで、法令等に基づき適正に処理しなければならない。この間に発生した事故については、甲の責に帰すべき場合を除き、乙が責任を負う。

2 乙は甲から委託された業務が終了した後、その都度、直ちに書面をもって、甲に報告しなければならない。ただし、当該書面は、manifestoのD（処分終了）票をもって代えることができる。

3 乙はやむを得ない事由があるときは、甲の了解を得て、一時業務を停止することができる。この場合、乙は甲にその事由を説明し、かつ甲における影響が最小限となるようにしなければならない。

（業務の調査等）

第 1 3 条 甲は、この契約に係る乙の廃棄物の処分が法令等の定めに基づき、適正に行われているかを確認するため、乙に対して、当該処分状況に係る報告を求めることができる。

2 甲は、乙に対し、処分施設における廃棄物の処分状況等を調査することができる。この場合、乙はその状況について適切な説明をしなければならない。

（再委託の禁止）

第 1 4 条 乙は、甲から委託された廃棄物の処分業務を他人に委託してはならない。ただし、契約期間中に施設の故障等真にやむを得ない理由により、処分業務を他人に委託せざるを得ない事由が生じた場合は、乙は、法令等で定める再委託基準（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 12）に従い、あらかじめ甲からの書面による承諾を得て、業務を再委託することができる。

（内容の変更）

第 1 5 条 甲及び乙は、契約期間及び最終処分の場所の変更等については、甲乙協議の上で、変更内容を書面で定め、その書面を本書に添付する。

（機密保持）

第 1 6 条 甲及び乙は、この契約に関連して、業務上知り得た相手方に係る機密事項を第三者に漏らしてはならない。

（契約の解除）

第 1 7 条 甲及び乙は、この契約の当事者がこの契約の条項のいずれか又は法令等の規定に違反するとき、又は甲乙の合意があったときは、この契約を解除することができる。

2 前項の規定によりこの契約を解除するにあたって、この契約に基づき甲から引渡しを受けた廃棄物の処分を乙が完了していないときは、当該廃棄物を甲乙双方の責任で処理した後でなければこの契約は解除できない。

3 乙は、甲が第 3 条及び第 1 1 条第 1 項の規定により提供した情報により、廃棄物の処分を適正に行なうことができないと判断した場合は、甲に対し、契約の変更又は解除を申し出なければならない。この場合において、甲は乙に当該廃棄物を引き渡してはならない。

（反社会的勢力の排除）

第 1 8 条 甲、又は乙の役員等（株主等の乙への支配力を有する者を含む）が暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった日から 5 年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ又は特殊知能暴力集団、その他これらに準ずる者（以下「反社会的勢力」という。）に該当し、又は反社会的勢力と以下の各号の一にでも該当する関係を有することが判明した場合には、何らの催告を要せず、本契約を解除することができる。

- 反社会的勢力が経営を支配していると認められるとき
- 反社会的勢力が経営に実質的に関与していると認められるとき
- 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に反社会的勢力を利用したと認められるとき
- 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められるとき
- その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

2 前項の規定により甲が乙との契約を解除し、甲から引き渡しを受けた廃棄物の処理が未だに完了していないものがあるときは、前条第 2 項第 1 号の規定によることとする。

（協議）

第 1 9 条 甲及び乙は、この契約に定めのない事項又はこの契約の各条項に関する疑義が生じたときは、関係法令の定めに基づき、誠意をもって協議の上で、これを決定する。

別表1 (委託内容 第1条、第2条、第3条、第4条、第5条、第9条関係)

契約期間	から		まで (第9条参照)				
排出事業所 No.	排出事業場名称		排出事業場所在地		電話番号		
1							
2							
3							
廃棄物の種類	契約単価		予定数量	単位	適正処理に必要な情報 (性状及び荷姿など)	処分方法	最終処分別表2
	処分	単位					
廃プラスチック類		円/kg		kg		選別 焼却	7 18
混合廃棄物		円/kg		kg		選別 焼却	7, 13,16 18
廃油		円/l		l		焼却	7
水銀使用製品産業廃棄物 (蛍光管)		円/kg		kg		破碎	8
契約期間中の 合計予定金額 (消費税別)	円		備考 合計予定数量 kg、 l 廃油は容器の容量にて精算します。 金属くずは中間処理後、有価物として売却します。 蛍光管は割れたものは原則受け入れ不可です。				

処分施設の内容				
処分方法	処理能力		乙の事業範囲	施設の名称・所在地
脱水 (無機汚泥)	143	m ³ /日	汚泥	公清企業 エコパーク 札幌市東区 中沼町45番地23 電話 011-792-3770
脱水 (有機汚泥・廃酸)	9	m ³ /日	汚泥、廃酸 (牛乳に限る。)	
乾燥	80	m ³ /日	汚泥、廃酸 (牛乳に限る。)	
コンクリート固化	272	m ³ /日	汚泥	
焼却	31.5	t/日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、動物のふん尿、動物の死体	
油水分離	40 8	m ³ /日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ	
中和	300	m ³ /日	廃酸、廃アルカリ	
破碎 (廃蛍光灯)	1.904	t/日	廃蛍光管に限る。	
選別	5	t/日	廃乾電池、廃棄物全般ただし医療廃棄物を除く。廃タイヤ、廃OA機器及び廃家電 (家電リサイクル法対象4品目は除く。) 等に限る。	

処分方法	処理能力		乙の事業範囲	施設の名称・所在地
破碎 (廃石膏ボード)	45	t/日	廃石膏ボードに限る。	公清企業 第2エコパーク 札幌市東区 中沼町45番地57 電話 011-791-1130
焼成 (廃石膏ボード)	36	t/日	廃石膏ボードで破碎したものに限り。	
焼却	38.4	t/日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、ガラスくず、コンクリートくず (工物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く) 及び陶磁器くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、動物のふん尿、動物の死体	
破碎 (焼却前処理)	61.6	t/日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず	公清企業 手稲前田最終処分場 札幌市手稲区 手稲前田453番地2 電話 011-792-3770
埋立	108,861	m ³	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず (工物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く) 及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん	

別表2 (最終処分の内容 第8条関係) 別紙を添付する。

別表3 (廃棄物情報の伝達 第3条関係)

廃棄物情報等に変更があった場合の伝達方法			
甲	担当者所属・氏名		
	電話		
	文書の伝達方法及び伝達先	<input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 郵送	
乙	担当者所属・氏名		
	電話	011-221-8881	
	文書の伝達方法及び伝達先	<input type="checkbox"/> FAX	011-221-6501
		<input type="checkbox"/> 郵送	〒060-0031 札幌市中央区北1条東15丁目140番地

印紙税法に基づき、処分については、合計予定金額について下記に該当する印紙税額を貼る。

2号文書 (2019年4月現在)			
1万円未満	非課税	1千万円以下	1万円
100万円以下	200円	5千万円以下	2万円
200万円以下	400円	1億円以下	6万円
300万円以下	1千円	5億円以下	10万円
500万円以下	2千円	契約金額の記載のないもの	200円